



# 河野としのり

## レポート

# 河野の としのり県議



# 2025 対談



# 熊谷俊人 千葉県知事

## 知事の現場主義

### 河野としのり県議

千葉市長時代より熊谷知事を拝見させていただいていますが、今までの首長とは違って、本当に全力で課題や問題に立ち向かい、多くの人の意見を謙虚に聞かれて、対策を練り上げられています。しかも、先の先まで展開を考え準備される方だと感じています。

千葉県知事になられても、災害現場に直ぐに行かれて、現状を把握されています。また、**就任後1年半で54市町村全てを訪問され、現場を視察しながら地域の状況を把握された**とお聞きしています。そのような自分の目と手と足を使って、問題や課題に立ち向かう姿勢に誠実さを感じます。

デジタル社会が進み、瞬間的に注目を浴びる情報の多さが正義となり、それがネットやSNSで更に増幅し、その熱が拡大して社会正義として形成される、またフェイクニュースに騙されることもあると思います。

その中において、**労を惜しまず現場を見て声を聞き、真実を捉えていく知事の現場主義は、ますます大切と思えますが、いかがでしょうか。**

### 熊谷俊人千葉県知事

千葉市長を経験したことで、市町村が県をどう見て何を期待しているのか理解をしているつもりです。ここで大事なのは、市長や町長と対話する時に、彼らに県庁へ来てもらうのではなく、私たちが市町村に出向くことです。

**アウエーである県庁では本音は聞けない、だから市町村に出向く**

彼らにとってアウエーである県庁では本音で話してくれないこともあります。彼らのホームである役場や、あるいは問題が起きている現場を訪問することで、同じ視点に立ち、本音で想いを語ってくれるのではないかと思っています。現場の空気を感じ、その地域が抱えている課題や、それを解決したときの広域的なメリットなども踏まえて、必要に応じて支援を行ってききました。

**知事という県のトップが自分たちの仕事をしっかり見てくれている**



また、県内各地に行くときは、県庁の出先機関にもあわせて行くようにしています。そうすると、職員は「知事という県のトップが自分たちの仕事をしっかり見てくれている」と感じてくれます。このつながりが非常に大事だと私は思っています。

### 河野としのり県議

現場に赴くことによって、そこから交流が生まれ、相手を理解することができ、いろいろなアイデアが沸いてくる。県政運営においても、地域住民にとっても非常によいことですね。

### 熊谷俊人千葉県知事

そうですね、信頼も高まり、現場の状況も把握できます。それが良いサイクルを生み出していきます。

### 河野としのり県議

現場主義というのは非常に大切ですね。一昨年の豪雨災害の時、すぐに知事は現場に行かれました。あれは実際に自分の目で見ないと、という気持ちだったのですか。



災害対応はスピードが命!!  
災害時は現場との距離を無くす

災害対応はスピードが命です。被災地の状況をトップがどれだけ迅速に、正確に把握して、組織全体を動かすか、そのためには速やかに被災現場に行くことが重要です。

被災自治体から要請が無くても  
派遣・支援することが大事

被災自治体は、どうしても目の前の対応で一杯となりがちです。現場に赴き、人員や物資など不足するものを即座に把握し、被災自治体から要

請が無くても派遣・支援することが大事で、実際に一昨年の豪雨災害ではそのような災害対応を行いました。

河野としのり県議

緊急の災害時は、トップが来ることで、いろいろな中間での手続きや判断が必要なくなるので対応が早いですね。

熊谷俊人千葉県知事



能登半島地震からの防災対策

河野としのり県議

令和6年1月の死者400人、全壊家屋8000件を超える被害を出した能登半島地震の悲惨な状況は、県民や区民の心を離れません。道路やインフラが寸断され、壊れた家屋からの人命

救助に欠かせない重機や復旧に向けた物資が届かず、また地震による海底隆起で港も使えないことから、海からの物資も届かない状況となりました。千葉県も半島ですので、同じように孤立状態になる危険性があります。能登半島地震では、被災地の初動の動きも、消防、警察、自衛隊など各機関の情報集約が出来ず、バラバラな状況もありました。

千葉県からも、県や市町村職員、警察本部、消防援助隊、医療・保健師チームなど多くの職員等を派遣されました。能登半島地震を踏まえ、千葉県としての教訓、課題などをどのように考えておられるでしょうか。

また、南海トラフの巨大地震の発生周期に入りました。関東大震災の周期も既に入っています。危機管理体制や防災対策についての想いや4年間の手応えなどをお聞かせください。

熊谷俊人千葉県知事

房総半島は、能登半島ほど細長く狭いわけではありませんが、半島型の災害としての教訓を受け止めるといふ目的も含め、石川県にかなりの職員を送り支援しています。私も昨年3月に奥能登の被災地に行き、珠洲市の市長や支援団体とも意見



交換しました。そこで得られたノウハウは、千葉県にフィードバックできると考えています。

孤立集落対策に対する支援や緊急輸送  
道路における法面緊急点検を予算化

昨年の5月には、能登半島地震からの復旧を進めている道路や電気、通信などに関わる機関との連絡会議を開催し、今後の対策を取りまとめました。そして、この対策に掲げた取組を速やかに進めていくため、6月議会において孤立集落対策に対する支援や緊急輸送道路における法面緊急点検などについて予算化をしています。

河野としのり県議

災害時は、組織内における危機管理部門の位置付けも重要だと思います。危機管理部門を他部署よりも一ランク上に置くというのは、緊急時には当然必要になるのではないかと思います。

熊谷俊人千葉県知事

そうですね。県の防災危機管理本部は、各部あるなかでも中核に置いています。以前は、新型コロナウイルスなら健康福祉部、鳥インフルエンザなら農林水産部といった形で、各担当部で対策本部を仕切っていました。現在は、この部署の危機管理事業であっても、仕切りは防災危機管理本部が行うようにしました。

超高齢化時代に対応した医療・福祉の充実



す。高度成長期に全国各地から集まってきた人々が、今度は一斉に死後について考える時代となっています。身寄りのない高齢者の方々は、将来に対する不安や自らの葬儀、お墓に関する死後の不安を抱えておられます。

知事もビジョンの中で、超高齢化が進む中で、県民の生命を守るためには、県内どの地域においても、安心して医療や福祉が受けられる体制を整備していくことが重要と仰っております。医療機関や介護施設等の機能分担・連携強化や医療人材、介護人材の確保がどのように進んでいるかお聞かせください。

熊谷俊人千葉県知事

まず介護ですが、特別養護老人ホームなどのハード整備を、市町村とともに確実に進めています。また、介護人材が不足する時代となっていますので、介護人材の確保にもかなり力を入れてきました。さらに、限られた人材で高齢者の介護ができるように、ロボットやICTの導入についても補助を充実するなど、業界と一緒に進んで対策に取り組んでいるところです。

介護業務効率アップセンターを設置

また、介護の生産性を向上させるため、介護業務効率アップセンターも昨年設置しました。

県内に勤務すると返還免除になる修学資金の貸し付け  
小児科医を志す学生への修学資金の加算



医療に関しては、県内でも地域に差があります。長生地域や夷隅地域などは医師や看護師が相対的に不足していますし、東葛北部地域は人口が増え小児科が足りていないということで、それぞれの地域の医療に携わる方々の意見を伺いながら、対応を考えていかないとけません。医師を志す学生に対して、県内の医療機関に勤務すると返還免除になる修学資金の貸し付けを行うなど、医師の

それぞれ地域の違いに合わせた制度設計

千葉県でも美浜区と若葉区では状況が違うわけですが、それでも都市部という共通点があります。しかし、過疎地域と東京に近い浦安市や流山市を比較すると、全然課題が違います。県の職員には、医療政策も福祉政策も全県で同じことをするのはなかなか難しい、それぞれ地域の違いに合わせた制度設計をした方がよいのではないかと、もっと弾力的にやっていたいという話を聞いています。

熊谷俊人千葉県知事

河野としのり県議  
千葉県長時代と違って、千葉県全体を見ないとありませんが、地域ごとに非常に多様な課題がある訳ですね。これらの解決には時間がかかるでしょうし、いろいろな人と会い、話を聞き、長期的な視点で見なければいけないですね。



河野としのり県議

私の住む千葉市美浜区は、その昔は貝や魚を食べて暮らした貝塚が残りの、遠浅を活かした海苔作りや潮干狩りも盛んでした。やがて高度経済成長期に広大な海辺が埋め立てられ、そこに住宅団地、学校、商業施設、オフィスビル、ホテル、球場が建てられ、何も無い海辺に全国から人が集まり今や15万人の街が生まれ、一生懸命働いて日本の高度成長を成し遂げました。

そして、定年となり高齢化が進み、75歳以上のおひとり暮らしでいらっしゃる方が5千人にもなります。



# 議会との関わり



熊谷俊人千葉県知事

議会へはリスペクトがなければいけない

議会は、二元代表制の一役を担うものとして首長とは別に選ばれている方々ですので、そこにはリスペクトがなければいけないと思っています。

私は、それぞれの県議の皆様が議会でのような質問されているか議事録を見えていますし、質問された事項で県として新たな動きがある時は、しっかり情報提供をしています。これは私



河野としのり県議

知事になられて、すぐに議会の質疑を読み込まれたというのは、県議一人ひとりを理解しようという想いからですね。

私もいろいろな知事を見てきましたが、皆さんそれぞれ一生懸命やってくられた中で、やはり匂いといいますか、県職員出身の沼田知事、参議院出身の堂本知事、俳優出身の森田知事、それぞれに違いがあるわけです。

しかし、熊谷知事は、何事も真正面に精一杯どこまでも誠実に取り組まれているイメージがあります。問題があっても絶対解決するまで

自身も短いながら議員をやらせていただきましたので、議員の方々の立場を理解しているからです。

できる限り意見交換し議員の皆様の想いを汲み取って行く

また、議員の方と意見交換をする機会もできる限り作るようにしています。そのような中で皆さんの想いをできるだけ汲み取って県政運営をしているつもりです。

熊谷俊人千葉県知事

立ち向かっていくという誠実さが生き方の姿勢としてあると思います。

ひた向きに、しがらみなく、問題を解決する、

これだけ若くして選んでいただいたのは、ひた向きに、しがらみなく、問題を解決したり将来を見越してやってくれるという県民の皆様からの期待だと思えますので、その期待にしっかりと応えたいというのが一番です。

将来に希望を感じていただきたい

それと県民の皆様には、将来に希望を感じていただきたい。政治に対する信頼が揺らいできていますが、本来民主主義というものはよいもので、みんな期待を込めて代表する人を送り出し、その人と一緒に良い社会を作っていく。そこを感じてもらえるようにしたいし、それは充分できると思っています。



## 「小中高校の体育館のエアコン設置」

### 河野としのり県議

知事は子育て世代の知事として、児童相談所の増設や建て替え、児童養護施設等退所者への奨学金創設、県独自の専科教員の配置、学校のトイレ改修などに力を注いでおられます。

夏の体育館は、直ぐに温度が37度以上になり、熱中症になるため部活動も出来ません。もちろん災害時の避難場所などにも使えず、夏の体育館にエアコン設置を切望する生徒や父兄の方々からの訴えが年々強くなっています。



小中学校体育館の空調設置率は全国でも約2割にとどまっています。

県立高校、小中学校においても、夏の使えない体育館を蘇らせるため、エアコン設置を熊谷知事のお力でまた早めていただきたいと思いますが、どうでしょうか。

### 熊谷俊人千葉県知事

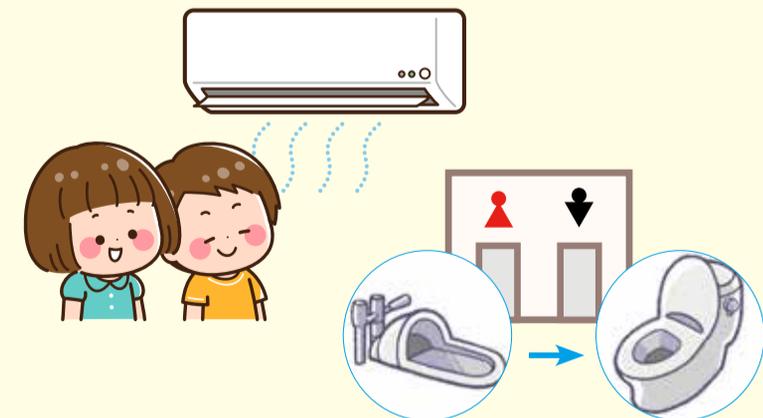
『教育予算を大幅に増やして県立学校の施設改修を推進』

知事就任後、教育予算を大幅に増やして県立学校の施設改修を進めています。

私の今後の政策では、避難所になっている県立学校の体育館について、エアコンの導入を進めていくとしています。県立学校は150校以上ありますので、まず、避難所としての優先順位等を考慮しながら入れていきたいと考えています。

特別教室にエアコン及びトイレの洋式化も急務

また、特別教室にエアコンがまだ入っていない学校もあります。トイレの洋式化も急務です。知事就任後、教育予算を大幅に増やして県立学校の施設改修を進めています。



河野としのりプロフィール

昭和48年 早稲田大学理工学部卒  
50年 早稲田大学大学院修士課程修了  
同年 東洋エンジニアリング株式会社入社  
平成7年 千葉県議会議員初当選  
16年 千葉県監査委員

17年 防災対策委員  
20年 民主党県連幹事長  
令和5年 千葉県議会議員8期当選  
現在 立憲民主党千葉県連合会副代表

●河野としのり事務所 ●〒261-0013  
千葉市美浜区打瀬1-2-2 幕張パークタワー305  
TEL. 043-211-0024

